

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート（案）

基本施策名	基本施策5 文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」	
	(1) 魅力ある資源の活用	
事業名	創造海岸いなげ展	
実施主体	指定管理者 (名称) 公益振興財団千葉市教育振興財団	
市との関わり	指定管理者	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	(連絡先) 221-2411(内)90-2527

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）
(目的設定の妥当性、他の基本施策への波及) 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 (目的の達成度) 1次評価では、地域資源を「絵に表現された田園風景」や作品展示場所として使用した「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」に限定しているが、千葉にゆかりのある作家自体も地域資源として捉えることがとても重要で、その視点から企画自体を価値のあるものとして打ち出していくべきではないかと考える。
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）
(設定の妥当性) 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 (達成に向けてのアプローチ) 本展覧会の入場料は一律無料ということだが、千葉にゆかりのある若手作家を支援する企画であれば、例えば入場料を有料にして作家が報酬を得られるなど芸術に興味のある市民が芸術を志す人を応援するような仕組みがあると良い。
4 市民との関わり（満足度、周知度）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
5 効果（地域活性化、費用対効果）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等

【提言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A：継続	<input type="checkbox"/> B：改善	<input type="checkbox"/> C：見直し
・従来の施設利用者層に留まらず、新たに千葉にゆかりのある若手作家に対して作品を発表する創出することは評価できる。 ・千葉にゆかりのある作家自体を地域資源として捉えることがとても重要で、その視点から企画自体を価値のあるものとして打ち出していくべきではないかと考える。 ・限られた予算の中で若手作家に対して、どのような支援ができるのかということが今後問われていくものと思われる。			